



写真:ケアハウスちあき

ケアハウスちあき

安心して暮らし、プライバシーとふれあいを両立

自立生活を望まれる60歳以上の方で、病状や虚弱により炊事や買い物などが困難な方向けの居住施設です。個室でプライバシーを守りながら、昼夜常駐する職員が緊急コールに応じて安否確認します。季節行事、外食会、買い物の外出支援、体操、健康講座など、入居者どうし交流を持ち、楽しみのある生活を過ごせます。千秋病院が隣接しており協力医療機関となります。

- 施設概要**
- ・定員 50名(個室) ・鉄筋コンクリート造5階建 ・2003年11月開設 ・食堂にて3食提供
 - ・全戸に浴室・トイレ・ミニキッチン付 ・共同浴室あり ・緊急コール装置 ・スプリンクラー設備
 - ・老人福祉法にもとづく軽費老人ホーム(一般型)
 - ・訪問看護や介護サービスのご利用は介護保険によりケアマネジャーにご相談いただけます。



プランターでトマトを育てましょう



天ぷら盛り合わせ、おいしそう

デイサービスセンター・ちあき

やりがい・生きがい・楽しみが持てる在宅生活へ

心身機能の維持向上のため、介護保険のケアプランにもとづき日帰りの介護サービスを提供します。生活相談員・介護職員・看護師・機能訓練員が連携し、利用者さんのやりたいこと・できるようになりたいことの「目標」達成を支援します。ご本人のお仲間づくり、またご家族の方にゆとりづくりを支援します。ケアハウス1階南側にて営業しています。

- 施設概要**
- ・一日定員50名 ・サービス提供時間9:20~16:30 ・月~土曜営業(日曜、一部の祝日、年末年始は休業)
 - ・利用地域は一宮市、岩倉市、稲沢市の一部 ・ケアプランに基づく生活介護、レクリエーション、個別機能訓練を実施、送迎 ・入浴、昼食、間食 ・趣味の創作、脳トレ、体操、ゲーム、カラオケ、麻雀、囲碁、将棋、喫茶、買い物(施設内)、コンサート鑑賞、保育園児交流など

地域交流スペース・喫茶コーナー「ふれあい」

気軽に利用できる文化と憩いの空間

- ・ケアハウス1階の開放的な空間にて、音楽演奏、ダンス、マジックショーなどのイベントを開催
- ・月~土曜に喫茶コーナーをボランティアさんにより運営
- ・ミニギャラリーにて絵画・写真・創作作品の展覧会
- ・災害時には福祉避難場所の役割を担います。



地域交流スペースは、憩いと交流の場所です。



写真:特養ちあき(左)/特養ちあき第二(右)

特養ちあき / 特養ちあき第二

介護が必要になっても、その人らしい暮らしの場を

要介護度が重くなり自宅での生活が難しくなった方のための入所生活施設です。一人ひとりの生活リズムに合わせた「ユニットケア」に取りくんでいます。1ユニットの定員は9名~10名、全個室です。可能な限り、その人らしい暮らしが続けられるよう配慮しています。

朝起きてお隣さんやお向かいさんと顔を合わせます。居間や食堂で思い思いに過ごすことができ、スタッフも顔なじみですから心の通い合う細やかなケアが可能です。お一人お一人の人生への尊厳をまもりプライバシーへの配慮と、入所者さんどうしのふれあいの両立を図っています。

年間を通じてお花見や夏祭りなどの季節の催し、誕生日のお祝い、季節感のある食事、また咀嚼状態に応じた療養食(ソフト食など)、管理栄養士、看護師と連携して個別機能訓練・口腔ケアなどに取り組んでいます。時にはスタッフが同行し、外出・外食を楽しむことができます。

入所利用の対象は、「地域密着型」施設のため、一宮市の住民票、介護保険証をお持ちの方で、要介護3以上の方となります(特例入所のぞく)。



納涼祭、ヨーヨー釣りやりませんか?



今日はフードコートで外食しました



花火キレイですねー



何かゲームしますか?(納涼祭)



清洲城公園に行きました

ショートステイ・ちあき / ショートステイ・ちあき第二

必要に応じて短期間利用し在宅生活を支える

ご本人の体調や家族状況により、短期入所を受入れています。ショートステイは、一宮市外の方もご利用できます。



地域交流スペース・おでかけ広場

各施設の1階にて、地域の健康づくり活動として「脳トレ麻雀」「パソコン教室」などの会場として利用されています。

- 施設概要**
- ・特養ちあき入所定員29名/ちあき第二入所定員29名、但し地域密着型(一宮市)
 - ・ショートステイちあき定員10名/ちあき第二定員10名
 - ・各施設4ユニット、合計8ユニット、定員合計78名
 - ・各ユニットとも食堂、共同生活室、共用トイレ ・2ユニットごとに浴室
 - ・機械浴室あり ・全個室(ベッド・洗面台・エアコンあり)
 - ・他に医務室、地域交流スペース、洗濯室、調理室、研修室
 - ・特養ちあき 2011年5月開設/ちあき第二 2015年4月開設
 - ・いずれも災害時に福祉避難場所として役割を担います